

北朝鮮の核実験に抗議する決議

核兵器の廃絶は、最初の被爆国である日本をはじめ、いまや全世界の人類共通の願いとなっている。

しかしながら、北朝鮮政府は、5月25日に2度目の核実験を強行した。これは、北朝鮮に対して「さらなる核実験またはミサイルの発射をおこなわないよう」求めた国連安全保障理事会決議1718（2006年10月14日）に違反し、決して許されるものではない。

今日、世界の中で核兵器廃絶に向かう新たな機運が生まれつつあるときに行われた今回の核実験は、こうした動きに逆行し、北東アジアの平和と安全を脅かすものである。

よって、非核平和都市宣言を行っている名寄市において、本市議会は、北朝鮮政府に対し、核実験の強行に強く抗議するとともに、今後いかなる核実験も行わないこと、核兵器及び核兵器開発計画を放棄することを強く求めるものである。

以上、決議する。

平成21年6月15日

名 寄 市 議 会

提出先

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
外務大臣

} 宛